

# 親魂的震災考

これならできる！『ちよい支援』のススメ



ばなな(以下B):あの震災から1年だね…。長かったよな、あつという間のような。



chiyo(以下C):そうだね。フリーペーパー作成を思い立ってがむしゃらにやってきたけど、ここで改めて被災地の支援について考えてみない？



あきんこ(以下A):支援というと、具体的には募金や寄付？私は出産で震災後しばらく関西の実家に帰っていたからその時は募金するくらいしかできなかった。他に何をしたらいいのかわからなかったし。

B:私はね、地元の石巻の同級生に商売しているお宅も多くて最初は直接的な支援と思って、わずかだけど寄付もしたんだ。でも今はその商品を買ったり、帰省の時にお店に食べに行ったりして支援してるよ。



なおみーる(以下N):でも、私たち子育てママは、なかなか被災地に向かうのは難しいからね…。支援したい気持ちはあるけど。

A:これからまだまだ長期間の支援が必要だと思うから、気負わずに長く続けていける支援方法を考えていきたいね。言うならば『ちよい支援』？

① 私にもできる復興支援！  
「のびすく仙台」などで配布  
仙台の子育て応援施設「のびすく」のボランティアママが中心となり発行した冊子。誰でも、離れていても、継続してできる支援を紹介。



この日はメンバーそれぞれが支援グッズを持参して座談会！



あきんこ:島根出身・2児の母  
なおみーる:青森出身・1児の母

chiyo:岩手出身・1児の母  
ばなな:宮城出身・3児の母



\*\*\*メンバー紹介\*\*\*

①

C:『ちよい支援』ということなら、私達も参加させてもらっている「ままふあ会」が発行したこの冊子「私にもできる復興支援！」をぜひ参考にしてもらいたいね。これは自らも被災し、辛い思いもされたママさん達が、支援グッズを沢山集めて紹介しているよ。



B:「小さな積み重ねが大きな支援に」だね！

A:それから色々な支援グッズが販売されているよね。グッズの購入が支援になると知って、私もいくつか買ったよ。「浜のミサンガ」とか「onagawa fish」とか。



どのグッズも、報酬につながるってだけでなく、作り手の方たちの毎日の生活の張り合いや生きる力みたいなものになっているって聞いた。そのお手伝いができるなら、買い手の私達も嬉しいね。

C:グッズ購入も『ちよい支援』のひとつと言えるね。石巻で買った「ハートブローチ」も同じように一つ一つ手作りで、しかもとっても可愛い！のでみんなに勧めたいグッズだよ。



N:うん。これママ友へのプレゼントに使いたいのって思ったんだけど、どこで買えるんだろう…？

C:仙台駅にある「絆 がんばろう東北」⑥っていうお店に置いてあったよ！ここは被災地の物産が揃っていて買う事で支援につながるし、私はこれからお土産買うのはココって決めたよ。

N:へえ～、駅にそんなお店があるんだね。支援グッズを全部一か所に集めたお店が近くにあっていいなって思ってたんだ～。

C:私は本を買う時も、売上が寄付金になるようなものを最近を選んでるよ。たとえばこの「LIVE福島 公式本」とか。これは去年福島で行われた6日間のライブの様子をまとめた本なんだけど、アーティストの想いと観客のみんなの想いを感じて涙が止まらなかった。ぜひ多くの人に読んでもらって、「福島のために何ができるのか」をちょっとでも考えてもらえたら嬉しい。



A:私はマンガだけど「スピカ」を持ってるよ。これは内容は震災には関係ないんだけど印税が被災地への義援金になるの。

(C) 羽海野チカ/白泉社

N:『ちよい支援』にも色々な形があるね、この前ばななさんが買ってきてくれたクッキーも義援金になるんでしょ？

B:そうそう！！「しあわせのぶたクッキー」だよ。美味しくて、なおかつ支援につながるって素敵でしょ。震災から1年が過ぎ、もう震災のことや被災者のことを忘れてる人も増えてきているよね。でも、まだまだ大変な状況下にいる人たちがたくさんいる…。せめて時々でいいから、辛く苦しい思いをしている人のことを少しでも思い出して、『ちよい支援』してもらおうと嬉しいな。



A:そのためにも、私達も『ちよい支援』を実行しつつ、オヤタマを通じて情報発信していきたいね。

② 浜のミサンガ「環」  
大・細2本セット¥1,100  
「地産地消市場」などで販売  
ネット販売あり  
岩手・宮城の沿岸部の女性が漁網を材料に手づくりしたミサンガ。商品代金のうち諸経費を差し引いた額が作り手の賃金になる。

③ onagawa fish  
1個¥1,200  
「珈琲まめ坊」などで販売  
ネット販売あり  
宮城県水川町の被災者が漁業の町にいつか本物の魚が戻るよう願いを込めて作製するキーホルダー。商品代金のうち製作費が作り手の元へ。

④ EASTLOOP「ハートブローチ」  
1個¥840  
「絆 がんばろう東北」などで販売  
ネット販売あり  
岩手・宮城の被災した女性が手作りするニット製ブローチ。商品代金の60%が作り手の収入になる。

⑤ 絆 がんばろう東北  
JR仙台駅3階  
復興支援のために東北6県の特産品などを販売しているお店。売上は全額被災地へ寄付される。

⑥ LIVE福島 風とロックSUPER野馬追  
僕らは君たちの恋人になりに来た  
1冊¥1,500(講談社)  
全国の書店で販売  
LIVE福島出演者のインタビュー、来場者やスタッフの声などを収録。印税はすべて福島県災害対策本部に義援金として寄付される。

⑦ スピカ～羽海野チカ初期短編集～  
1冊¥600(白泉社)  
全国の書店で販売  
人気漫画家・羽海野チカのご夫婦が始めた支援プロジェクト。印税はすべて東日本大震災被災地に義援金として寄付される。

⑧ しあわせのぶたクッキー  
1枚¥100  
「cake & cafe <りゅーん>」にて販売  
仙台市若林区にあるケーキ店のご夫婦が始めた支援プロジェクト。商品代金はすべて宮城県災害対策本部に義援金として寄付される。